

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校5年生

その他

C1 発表や話し合い

教員と児童生徒

2 概要

普段のどの授業でも意見交換をしたい場面がある。しかし感染症対策のため、そんな場面が作れない。そんなときにマイクロソフトチームズを使い、お互いの意見を交換を図った。

単元(題材)名

国語「この本、おすすめします」
算数「変わり方を調べよう(2)」など

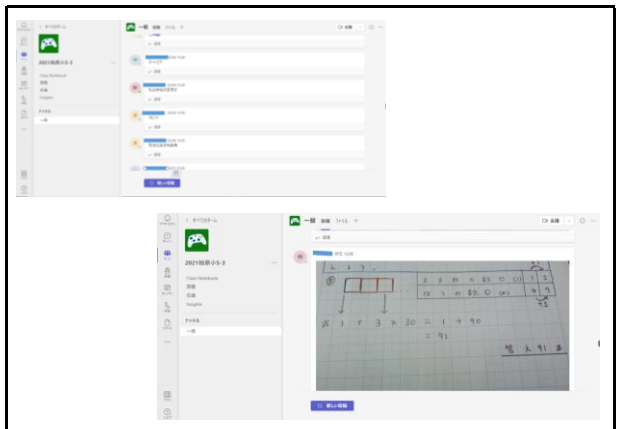
単元(題材)目標

活用したICT機器、アプリケーション等

タブレット、マイクロソフトチームズ

本時のめあて

写真・記録



本時の展開の概要

国語「この本、おすすめします」では、みんながどんな本をお勧めするのか知りたいときに、お勧めする本をコメント欄に投稿した。算数「変わり方を調べよう(2)」では、変わり方について自分の考えをノートに書き、それを写真に撮り、投稿した。学級活動で6年生を送る会での出し物の練習をしたときに、その練習風景を動画で撮影したのを見て、みんなで改善点について、投稿し、話し合いの代わりとした。

ICT機器の活用でねらった効果

マイクロソフトチームズのコメント・写真の投稿する技術の獲得
感染症対策として声を出さない意見交換

児童生徒の様子(成果や課題)

意見を書き込むということはほとんどの児童がすぐにできた。
国語で「この本、おすすめします」ということで、どんな本をみんなが選ぶのか、気になっている児童がいたが、投稿された意見をもとに選んでいる児童がいた。
算数では、隣同士での話し合いができない代わりに、クラスの友達の様子を見て、考えを深めることが出来ている児童がいた。
学級活動では、簡単な少人数での話し合いができないので、投稿された意見を見ながら教師がフォローしながら児童の意見を反映した話が進められた。
内容によっては、投稿する児童に偏りが見られる。これは普段の授業の発表する児童にもつながると思うが、課題だと思われる。

狭山市立柏原小学校 名前: